

令和6年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
生理光学 I		講義	荒木 渚	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
視力は眼の状態を把握する上で大切な指標であり、視力に影響する因子の1つに屈折異常があります。この授業では、視力検査や屈折検査に関する基礎知識を身につけるために「視力とその検査の理論」、「屈折異常」を理解することを目的とします。				
授業の到達目標				
①視力の概念を説明できる。 ②屈折異常の定義とその矯正方法を説明できる。 ③レンズ度数をパワークロスで示すことができる。 ④視力や屈折に関連する演習問題を解くことができる。				
授業計画				
回	内容			
1	視力の評価			
2	Landolt環の計算①			
3	Landolt環の計算②			
4	正視・近視			
5	遠視			
6	屈折度と遠点			
7	屈折矯正 (近視)			
8	屈折矯正 (遠視)			
9	レンズ装用時の屈折度と遠点			
10	確認テスト			
11	乱視			
12	屈折矯正 (乱視)			
13	軸転換			
14	等価球面度数			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト		習熟度の確認のため随時小テストを実施するが、評価には含まない。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第3版	小林義治 他編	文光堂		
目でみる視力・屈折検査の進めかた 第2版増補	所敬 他	金原出版		
視能学エキスパート 視能検査学 第2版	和田直子 他	医学書院		
眼科検査ガイド 第3版	根木昭 他	文光堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
理解を深めよう視力検査屈折検査	所敬 他	金原出版		
屈折異常とその矯正 改訂第7版	所敬	金原出版		
自由記載				
備考				